

100周年記念施設基本計画



■基本方針

福井大学工学部創立100周年を記念し、教育環境の改善と、「イノベーションコモン」と「学びの母港」としての機能強化のための施設を建設する。

・教育環境の改善：学生の自己学習、データサイエンス教育や課題探究・解決力を養う実践活動に利用できる、共同研究の打ち合わせ、研究成果発表を行う場とする。

・「イノベーションコモン」の機能強化：学内外を問わない多様な人材（工業会会員や地域に開かれた施設）が、協働で新しい価値を創造・展開し、豊かな地域・社会の実現に資するための共創の拠点。

・「学びの母港」の機能強化：卒業生や地域のリカレント・キャリアアップ・生涯学習のよりどころとなる場とする。

■整備の方針

・整備方法は、文部科学省の予算で改修する工学部2号館（機械工学科棟）の南側の講義室棟の改修と、寄付金で建設する100周年記念施設の一体整備によるものとする。また周辺施設（既存ストック）と合理的に連動し、全体として基本方針を実現する施設とする。

・持続可能な大学運営を鑑み、環境に優しい省エネ機能を有し、利用率が高く、維持・管理コストを極力抑える施設とする。また木材などを積極的に用いた建物とする。

■講義室棟（改修部分）の機能と整備方針

1. 223L 講義室（プレゼンテーションホール）

プレゼンテーションホールに改修する。各種学会や国際会議のプレゼンテーション、卒業論文・修士・博士論文の公聴会、研究や教育や社会貢献の成果を学内外に発表する場所として、公式なプレゼンテーションにも対応できるような高品質なデザインと機器設備を有する。

2. エクセルルーム

データサイエンス教育の強化を行い、課題探究・解決力を養う実践活動や実践プロジェクトベースドラッシングを行うための工房として改修する。

3. 211M・214M 講義室

各種学会や研究発表会に対応できる場所とする。通常は、講義室などに用いる。

4. 廊下階段

プレゼンテーションルームや増築棟へのアプローチ空間として、居心地の良い高品質なデザインとする。

■100周年記念施設（増築棟）

(1階)

1. 100周年ホール

学会や研究発表会のWSやレセプション、実践的学習やグループワークなど、多目的に使用。

2. 学生のコミュニティスペース

・コミュニケーションスペース

学生の自習、コミュニケーション、休憩、

・自動販売機、イートエリア

(2階)

・ホワイエ：223L 講義室とつなげる

・ラウンジ：工業会会員・共同研究者等

・オープンラボ：産学連携研究

・ギャラリー：本学の研究・教育・社会貢献活動の成果の発信・展示

・100周年ギャラリー：学生の社会連携やサークル活動などの実践活動を応援する



プレゼンテーションホール（223L 講義室改修）

100周年ホール（仮称）